

評価結果



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)フローレンス横川町	階数	地上15F
建設地	広島県広島市西区横川町3丁目9番	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	294 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年6月 予定	評価の実施日	2016年12月9日
敷地面積	1,286 m ²	作成者	ニュートピアプランニング 中野
建築面積	629 m ²	確認日	
延床面積	7,808 m ²	確認者	ニュートピアプランニング 中野



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE =1.3 ★★★★★ S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★	★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆ 標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
Q1のスコア= 3.1	Q2のスコア= 3.3	Q3のスコア= 2.2
LR 環境負荷低減性		
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア= 4.0	LR2のスコア= 3.1	LR3のスコア= 3.3

3 広島市の重点項目		
重点項目の総平均スコア= 3.3		
「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア= 4.0	スコア= 1.6	スコア= 3.0
設計の計画に特段に配慮した事項 // LED照明採用 // 躯体と仕上材が容易に分別可能。 / 可能な限りCO2の排出を削減。 エコキュート・IHヒーター採用	設計の計画に特段に配慮した事項 /	設計の計画に特段に配慮した事項 磁器質タイル・パーティクルボード 住宅性能評価基準「劣化対策等級」等級3 /

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される